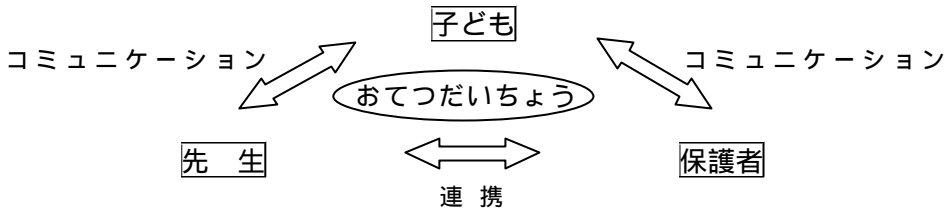


教育庁実施事業改善調査書（平成17年度実施事業）

生涯学習課

事業名	お手伝いボランティア奨励事業	事業開始年度	平成12年度																												
事業の目的	小学校1年生に、責任感や自立心などを身につけさせる。																														
事業の概要	<p>小学校1年生全員に、お手伝いの計画や記録、保護者・先生からのメッセージなどを記入する「おてつだいちょう」を配布し、学校と家庭が連携してお手伝いを励行させることによって、責任感や自立心などを身につけさせる。</p>  <pre> graph TD Child[子ども] <--> コミュニケーション Teacher[先生] Child <--> コミュニケーション Guardian[保護者] Teacher <--> 連携 Guardian Otedetsudai([おてつだいちょう]) Teacher --- Otedetsudai Guardian --- Otedetsudai </pre>																														
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに自立心や責任感が身に付く。 ・子どもと保護者のコミュニケーションの機会が増える。 ・学校と家庭の連携を図ることができる。 																														
アンケート調査結果	<p>調査対象 児童 小学校1年生 453人 保護者 小学校1年生の保護者 453人 教員 小学校1年生の担任 17人</p> <p>児童：1週間に何日ぐらいお手伝いをしますか。</p> <table border="1" data-bbox="379 1093 1382 1167"> <tr> <td></td> <td>ほとんど毎日（4日以上）</td> <td>2・3日</td> <td>ほとんどしない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>43</td> <td>40</td> <td>17</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>児童：「おてつだいちょう」を使うことをどう思いますか。</p> <table border="1" data-bbox="379 1267 1382 1341"> <tr> <td></td> <td>使った方がよい</td> <td>ない方がよい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>60</td> <td>40</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>児童：「おてつだいちょう」を使うようになってから、お手伝いの回数がふえましたか。</p> <table border="1" data-bbox="379 1442 1382 1516"> <tr> <td></td> <td>増えた</td> <td>変わらない</td> <td>減った</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>31</td> <td>66</td> <td>3</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>[増えた理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほめられるとうれしい 61% ・「おてつだいちょう」があると楽しい、やる気になる 35% <p>保護者：お手伝いをとおして、お子さんにどんな成長がみられましたか。（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手伝いなどを進んでするようになった 35% ・自分のことができるようになった 28% ・親の家事が少し理解できるようになった 26% ・思いやりの心が育った 19% ・家族の一員の自覚が持てるようになった 18% 				ほとんど毎日（4日以上）	2・3日	ほとんどしない		児童	43	40	17	(%)		使った方がよい	ない方がよい		児童	60	40	(%)		増えた	変わらない	減った		児童	31	66	3	(%)
	ほとんど毎日（4日以上）	2・3日	ほとんどしない																												
児童	43	40	17	(%)																											
	使った方がよい	ない方がよい																													
児童	60	40	(%)																												
	増えた	変わらない	減った																												
児童	31	66	3	(%)																											

アンケート
調査結果

保護者：県が配布した「おてつだいちょう」についてどう思いますか。

	あった方がよい	ない方がよい	(%)
保護者	48	52	

[あった方がよい理由](複数回答可)

・お手伝いをするきっかけになる	56%
・励みになり意欲がわく	27%
・自立心や自主性が育つ	23%

[ない方がよい理由](複数回答可)

・あってもなくても変わらない	39%
・「おてつだいちょう」のためのお手伝いになってしまう	39%
・子ども自身が気がついて自分からやって欲しい	26%
・記入が大変、面倒である	20%

教員：「おてつだいちょう」をとおして学校と家庭の連携が図られましたか。

	図れた	変わらない	無回答	(%)
担任	47	47	6	

家庭との連携の内容

- ・家庭での子どもの様子がわかった
- ・保護者の考え方や意識が理解できた

調査結果の分析

- ・児童(小学校1年生)の43%が週4日以上、40%が週2～3日のお手伝いをしている。
- ・児童の60%、保護者の48%は「おてつだいちょうを使った方がよい」と答えているが、保護者の52%は、「おてつだいちょうのためのお手伝いになる」、「あってもなくても変わらない」などの理由から、「ない方がよい」と答えている。
- ・学級担任は、「おてつだいちょう」で、家庭での子どもの様子や保護者の考え方などを理解している。

関連データ

県内小学校1年生のお手伝いの状況 (単位：%)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
週4日以上	32	33	39	41	43
週2～3日	48	45	51	50	40
計	80	78	90	91	83

今後の方向

8割を超える児童(1年生)が週2日以上お手伝いをしており、「おてつだいちょう」がお手伝いの励行に一定の成果をあげているといえる。「おてつだいちょう」はないほうがよいとしている保護者が5割を超えてはいるが、児童の6割はあったほうがよいとしており、週4日以上お手伝いをする小学校1年生の割合が年々高くなるなど、「お手伝い」の定着がみられることから、引き続き実施していきたい。

今後、「おてつだいちょう」の趣旨や使い方などについて、啓発チラシを工夫・改善するなどして保護者の理解を一層深める必要がある。

なお、本事業については、事業開始から毎年、児童・保護者・学級担任へのアンケートを実施し、その意見等に基づいて見直しに取り組んでおり、これまで、「おてつだいちょう」の親のコメント欄を毎日から週1回にする、夏休み等はまとめて記入するようにする、などの改善等を行ってきた。18年度は、お手伝いの様子を記載する欄の日付と曜日をあらかじめ印刷し、児童の負担軽減を図ったところである。